



ホッピーだより



No.496

2026年3月1日発行

むかわ町穂別博物館

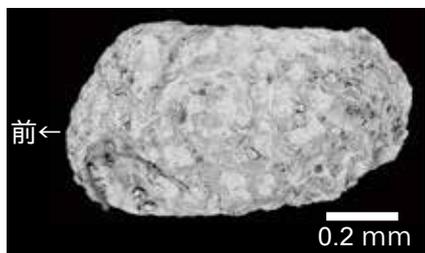
〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook (@HobetsuMuseum)

きょうりゅう 日本の恐竜時代初！！ かいけいちゅう 新種の介形虫（節足動物）化石を発見！！

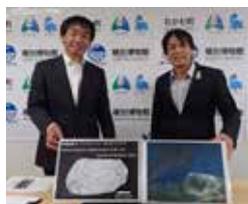


©Takumi

新属新種ホバツシセレイス・オオタツメアイ (*Hobetsucythereis ohtatsumei* gen. et sp. nov.) の生体復元画。後ろのイノセラムス科二枚貝は白亜紀カンパニアン期中期のスフェノセラムス・オリエンタリス (*Sphenocerasmus orientalis*)。Takumi 氏提供。



ホバツシセレイス・オオタツメアイの電子顕微鏡写真。



2月20日の記者発表。左が田中准教授

二枚の殻をもつ介形虫は、甲殻類に属する微小な節足動物です。古生代に出現し、現在は世界中に分布します。介形虫は日本各地の古～新生代から化石が知られていますが、恐竜時代である中生代の研究例は数例程度です。

西村学芸員の大学・大学院生時代の先輩で介形虫の専門家である田中源吾准教授（熊本大学）と共同で研究を進めた結果、穂別地域の恐竜時代の地層から多数の介形虫化石を発見し、そのうちの6種を新種として報告しました。

詳しい研究内容はプレスリリースをご覧ください。<http://www.town.mukawa.lg.jp/secure/5406/Hobetsu>

[Ostracods_Press_release_202602.pdf](https://www.town.mukawa.lg.jp/secure/5406/Hobetsu/Ostracods_Press_release_202602.pdf)

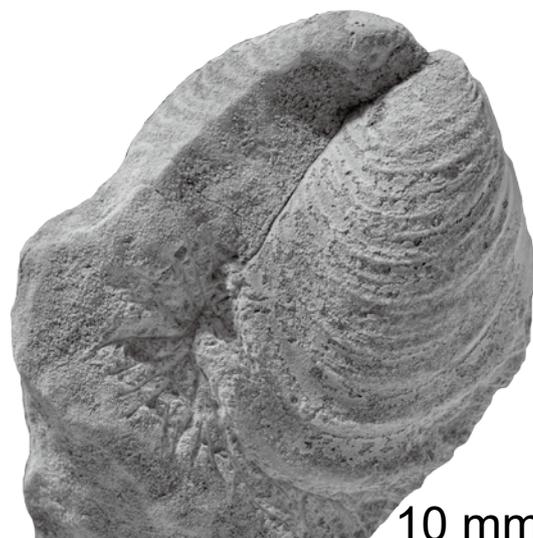
学芸員 西村智弘



湖底に水没した産地から発見された イノセラムス科二枚貝



西村智弘・安藤寿男 (2026 英)
http://www.town.mukawa.lg.jp/secure/5408/Nishimura_Ando_2026.pdf



10 mm

発見された白亜紀サントニアン期末～カンパニアン期中期のスフェノセラムス・ナガオイ *Sphenoceramus nagaoi*



化石産地 (2012 年撮影。現在は夕張シューパロダムにより水没)

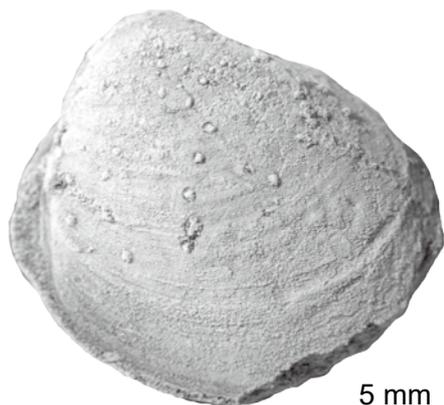
夕張シューパロダム (2015 年竣工) 周辺には白亜紀末の函淵層が露出していますが、時代決定可能な化石は数点しか発見されていません。

ホッピーだより No. 487 で紹介した安藤寿男茨城大学名誉教授の寄贈資料の中に、時代決定可能なイノセラムス科二枚貝 (1993 年採集) を発見したので、報告しました。

カムイサウルス産地から発見された 北海道初の二枚貝化石



西村智弘 (2026 英)
http://www.town.mukawa.lg.jp/secure/5408/Nishimura_2026.pdf



5 mm

北海道の白亜紀末の地層である函淵層からは二枚貝化石が多数産出しますが、その研究は 1930・70 年代に数例ある程度です。恐竜カムイサウルス発掘の際に数百個体産出した二枚貝化石を調べたところ、これまでに西南日本からしか産出報告のなかった種類を 2 個体発見し、報告しました。

カムイサウルス産地から発見された
テナア・ジャポニカ *Tenea japonica*

学芸員 西村智弘



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10 名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2026年 3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2026年 4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

4/1 から 4/24 はリニューアル準備のための休館となります。

■ 休館日 ○ 町民無料観覧日